

令和 3 年 11 月 26 日

瀬戸内未来デザイン会議を開催

クロスセクターで竹原・大崎上島の未来ビジョンを考える

概 要

竹原・大崎上島エリアの未来ビジョンを多様なメンバー(クロスセクター)で検討する瀬戸内未来デザイン会議(全 3 回)を開催します。

渋谷・京都・気仙沼・広島などで多くの開催実績をもつ「つなげる 30 人」(Project30)の手法を用い、多様な参加者が地域の未来を議論することを通じて、竹原・大崎上島の未来をつくる人財を育成することを目指します。(詳細:別途資料を参照)

開催内容

日時:令和 3 年 12 月 1 日(水) 10 時~17 時

場所:道の駅たけはら 2F 会議室

参加者:28 名

(地域の製造業・農業・個人事業主・銀行・まちづくり会社・自治体職員他が参加)

当日の内容

第 1 回(11/18)は WEB にて開催され、第 2 回(今回)が初の対面での開催となります。

当日は第 1 回の議論の内容をもとに、複数のグループに分かれ、「シナリオプランニング」の手法を用い、竹原・大崎上島エリアの「未来シナリオ」を作成します。

その他

今後は、1/13(木)に第 3 回を実施、全 3 回の会議で作成した「未来シナリオ」の実現に向けて取組を行う予定です。

共催:竹原市、竹原商工会議所

主管:株式会社いいね竹原

問い合わせ

総務企画部 担当:塩田

TEL0846-22-1568 FAX0846-22-0998

瀬戸内未来デザイン会議～竹原・大崎上島～とは

市民・企業・行政・NPOから構成された
地域のまちづくりのプレイヤーが協働し未来を描き、
地域の未来をデザインする。

めざすこと

行政・企業・NPOのそれぞれの力を活かし、
社会的つながりを強くすることで
本質的な社会変容を起こすこと

信じること

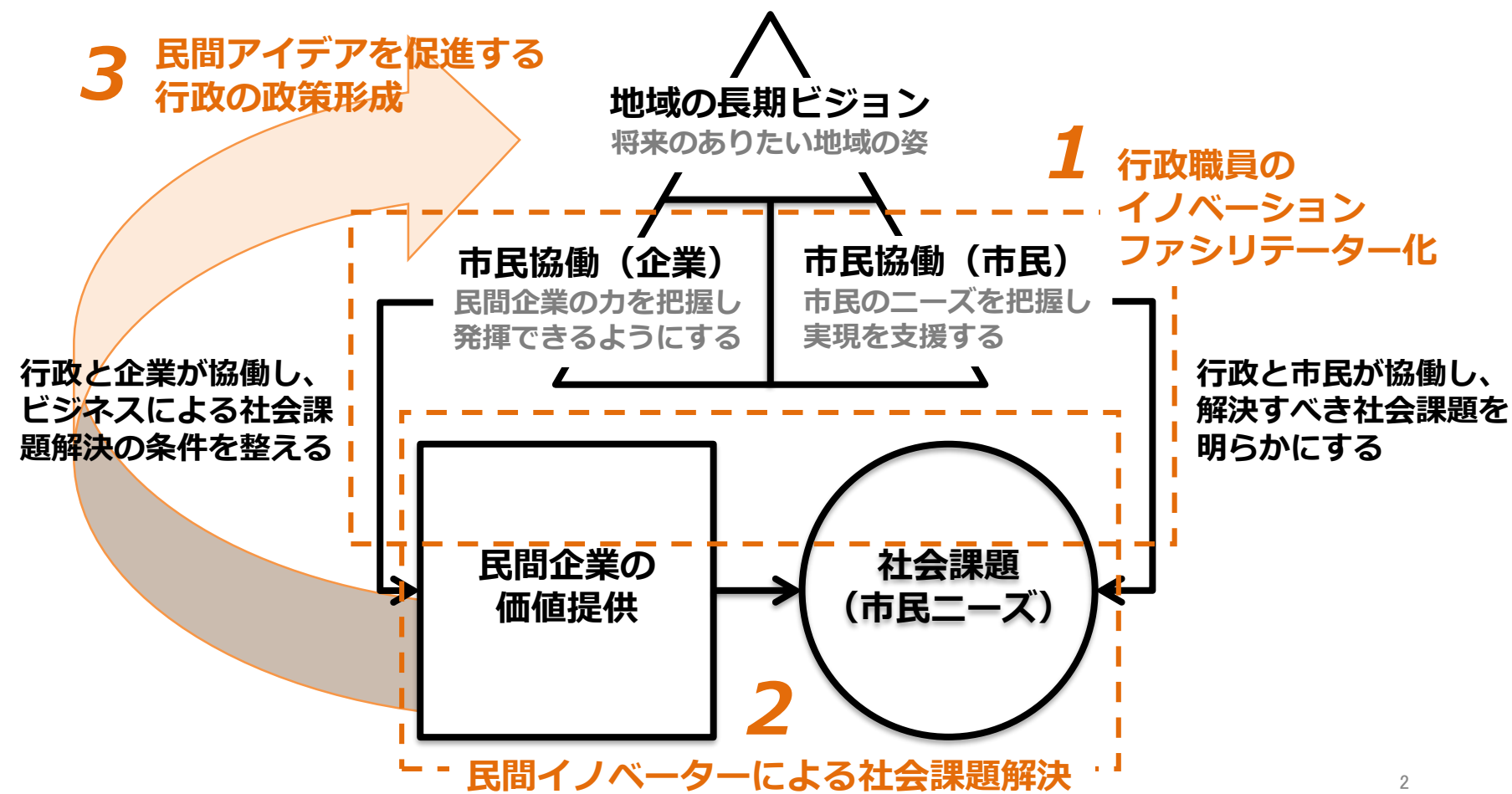
志高き多様性あるメンバーが集まれば、
都市を変えることができる

第1期のねらい

竹原・大崎上島の未来をつくる人財を育成する



瀬戸内未来デザイン会議～竹原・大崎上島～第1期



クロスセクターでの協創



地域・都市の未来

SDGs時代のまちづくり

未来をつくる人材育成

未来をつくる人財を育成する

企業のイノベーション活動

自治体・NPOと連携した社会価値創出
(CSV) で事業分野を拡げる

自治体の官民協働推進

自治体だけでは手の届かない地域課題
解決の協創

NPOの社会課題解決

企業のリソースとつながることによる
社会的活動を拡大

SLOW INNOVATION

Changing systems step by step

概要

ひろしま30との協業

参加メンバーとの協業

ひろしま30参加者の、本プロジェクトへの参加

竹原・大崎上島の
未来を描く

観光を手段とした未来
実現シナリオ共創

マルシェでの
プロトタイピング

日程・形式	参加者	内容
11月18日(木)午後 オンライン事前 セッション	マル シェ実 行委員 +ひろ しま30 ファシ リテー ター+ 地域ス テーク ホル ダー	【オンライン】事前セッション（3時間） ミニ未来シナリオ+事前課題説明 （課題）ステークホルダーインタビュー等
12月1日(水) たけはらの未来を 描く一日セッション		【対面】 未来ビジョンセッション 未来のコミュニティ、人々のくらし 家族、 働き方などを描く。
候補 1月13日(木) マルシェでの プロトタイピング セッション （1日間）		【対面】 マルシェでのプロトタイピング具 体化 （1日間） 未来のくらし、ビジネス、共創した未来の 観光を具体化する。それらを体験するマル シェを企画する。

スラックなどで伴走

2月26日(土)マルシェにて、
竹原・大崎上島の未来を体験するプロトタイプを実施

SLOW INNOVATION

Changing systems step by step